

箕面市立 多文化交流センターニュース

No.22

発行 2026.3月

Minoh Multicultural Center News

発行:箕面市立多文化交流センター 指定管理者:(公財)箕面市国際交流協会



私たちの本拠地である「多文化交流センター」に続き、2024年3月には箕面船場阪大前駅の開業に伴い、改札を出てすぐの市民ギャラリー「チカノバ」の指定管理を始めてから2年が経とうとしています。この間地域の状況も大きく変化しました。

2025年11月末には、市内に90の国・地域から過去最多となる3,651人が暮らしています。このうち日本語指導が必要な児童・生徒は80名、もはや若い世代は外国にルーツを持つ人たちと共に暮らす日常が当たり前となる一方で、ことばや文化の壁の解消にあたっては人的要因が圧倒的に不足し、ボランティア頼みの状況が常態化しています。物価高で経済的な格差も大きくなる中、排外主義的な主張が国内、海外問わず蔓延し、当事者たちが抱える不安や苦しみの声も多く寄せられるようになりました。

2019年の入管法改正により、労働力の不足する現場に多くの外国人市民が働くよう

になったいま、互いを尊重しながら生きる社会をつくるために私たちができることはたくさんあります。分断による対立、競争や排除をあおるのではなく、互いにできることを持ち寄り、ともに生き合うことのできる社会は、すべての人にとって持続可能な住みよい地域となるはずです。

今号では、「地域のほんご教室」をテーマに特集を組み、さまざまな現場の様子をお伝えします。

ことばや文化の壁を低くするために、最前線で日々奔走する皆さんの知恵と工夫がヒントとなれば幸いです。
(岩城)



支えられた人が、次は支える側に！



多言語相談員による 情報交換会「わいわい」を開催しました

12月16日多言語相談員による情報交換会「わいわい」をcomm cafe で開催しました。「わいわい」は、これまで「医療」や「防災」などを様々なテーマで、多言語相談員と日本語教室の学習者が交流しながら生活に密着した情報交換を行う取組です。

「今回は私たちが支える側に！」と、多言語相談員と日本語教室「ささゆり」「あかね」に通う中国出身の方々「刺繍餃子」というグループを6名で結成して取り組みました。

赤いエプロンとバンダナ姿のメンバーがキッチンに立ち、麺棒で餃子の皮を手際よく伸ばし、具を詰めていきます。メニューは、水餃子、きゅうりとピーナッツの和え物、スープ。参加者にベジタリアンの方もいるため、野菜餃子と肉餃子の2種類が用意されていました。



キッチンはまるで学園祭のように笑顔とにぎわいにあふれて、「大学のお祭りを思い出しました。懐かしくて、すごくうれしかった。またやりたいです」と感想を語ってくれました。

この日は、日本語教室「ささゆり」の年内最後の活動日だったこともあり、1年間の感謝を込めて先生方も招待し、日本語教室で習った日本語を思い出しながら交流しました。「刺繍餃子」のメンバーの約400個もの餃子を作ったという言葉に、参加者からは感嘆の声が上がりました。

今回の「わいわい」は、「いつも支えられているので、今回は支える側になりたい」という、外国人市民の思いを形にする場となりました。これからもセンターを拠点に、地域のみなさんと一緒に、誰かのやりたい！を応援していきます。

(末原)



豊川南小地区福祉会から

あいあい子ども食堂

2022年から始まり毎月1回第3水曜日17時～19時にcommcafeで開催する『あいあい子ども食堂』も丸3年になります。参加者はどんどん増え、現在では100名の定員が、申込み受付開始から3～4時間で埋まってしまうほどの大人気の食堂になりました。

希望者全員を受け入れることができない現状にもどかしい気持ちもありますが、ボランティアの方の負担も考え合わせ日々取り組んでいます。「細く長く楽しく続けていこう」をモットーに幅広い層のボランティアメンバーと楽しみに来てくれる参加者との素敵な出会いを大切に毎回開催しています。



あいあいカフェ



毎週水曜日13時～16時に多文化交流センター地階駐車場横の豊川南小学校地区福祉会拠点『あいあいルーム』で開催しています。早い時間は大人の方が集い、14時半を過ぎたあたりからは、小学生がたくさん来てくれています。多いときは50名を超える子どもたちでにぎやかなカフェは世代間交流の場になっています。

最近では子どもたちの待ち合わせ場所にもなっているようで、「『あいあい』で待ち合わせな!」といった言葉を耳にするたびほんわかあったかい気持ちになる私たちです。(地区福祉会 宮下)

小野原図書館から



小野原図書館入り口付近のレイアウトを新しくしました。入り口正面には新しく入った本のコーナーを配置したほか、ミドルシニアを対象とした本を集めたコーナーを新たに設けました。それぞれのコーナーの本は、フレッシュさを感じていただけるよう、定期的に入れ替えしています。

また、対訳の本の収集につとめました。対訳の本は、日本語と英語それぞれの言語とともに、本の内容を一冊で知ることができる本です。具体的には、日本史の本やガイドブック、写真集などを新たに配架しました。11月

に開催した多民族フェスティバルでは、これらの本とともに、外国語の絵本を集めたコーナーを設け、タイアップ展示もしました。

ほかにも小野原図書館では、毎週木曜日におはなし会を実施しています。対象は、午前10時30分からが赤ちゃん向け、午後3時30分からが幼児向けです。詳しい情報は、箕面市公式Xや図書館ホームページ、もみじだよりでお知らせしています。

憩いのひとときを過ごしに、ぜひみなさん、小野原図書館にご来館ください。

(館長・水原)

地域にほんご教室

多文化交流センターを中心に、市内5か所で開催しています。
そのうち、3教室の取組をご紹介します。

せいなんにほんご

- ・毎週水曜日・19:00~20:30 ・西南生涯学習センター
- ・2020年設立

仕事や学校が終わってからも通える平日
夜のにほんご教室。

学習者一人ひとりのレベルや目的に合わせて、地域のボランティアと一緒に日本語を学びます。教材を使った勉強だけでなく、日常の話題を取り上げながらおしゃべりをしたり、学習者同士が知り合い、生活に役立つ情報を交換したりするなど、気軽に参加できるあたたかな雰囲気が魅力です。



また、年に2回（7月・12月）行われる交流会では、学習者が得意な料理をみんなで一緒に作って味わったりする楽しい時間があります。

世界各地の家庭料理を囲みながら互いの文化に触れ、より深くつながれることも、地域の日本語教室ならではの醍醐味です。

（炭野）



2025年12月の交流会の様子。ボランティアさんと一緒にちらし寿司を作るテーブル（手前）。
他のテーブルでは、生パスタ、タコス、餃子、スパイスミルクティ（チャイ）を作って、みんなで食べました。

ことばを紡ぎ、個性を守る



せんばこどもたぶんかクラブ

・毎週木曜 ・16:30-18:30 ・船場図書館 ・2024年設立

・協力：大阪大学大学院人文学研究科附属複言語・複文化共存社会研究センター（阪大ふくふくセンター）
箕面市立船場図書館

「せんばこどもたぶんかクラブ（せんくら）」は、外国ルーツの子どもたちが母語や日本語を含めた「自分のことば」を大切に、多文化な自分をまるごと受け入れ、自分も相手も尊重できる心の根っこを育む場をめざしています。

ある時、市内の小学校より、「来日間もない1年生の子どもが在籍しており、特別授業で絵本を活用した学習を予定している。その子が内容を理解しやすいよう工夫したいが、協力をお願いできないか」との相談がありました。「せんくら」で話し合い、同じ母語を持つ

「せんくら」に通う子どもと留学生がタッグを組むことに。シンプルで分かりやすい言葉で文面を録音したものを学校へ届けました。その子は、クラスで話されていることを理解し、身近に感じる事ができたそうです。「自分はこの場に受け入れられている」と実感できた小さな出来事は、その後人への信頼に変わり、自ら周囲に助けを求める勇気を後押ししていくことでしょう。

日本語指導が必要な子どもたちを「日本語ができない」とマイナスで捉えるのではなく、その子の背景にある多言語・多文化の持つ可



能性に目をむけて、プラスに捉えてほしいといつも思っています。毎週2時間、あの手この手で宿題をしたり、遊んだり、話を聞きあったりして共に過ごす。この経験は、3ヶ月、1年、10年と日を追うごとに、かけがえのない豊かさとして着実に刻まれると確信しています。

マイノリティ（社会的弱者）が自分らしく生

きられる社会は、巡り巡ってマジョリティを含む誰もが自分らしく生きられる社会へとつながります。地域の国際化を社会課題として認識しながら、目の前の子どもに徹底的に寄り添う視点を忘れない。これからも地域、行政や大学と手を取り合い、誰もが自分を諦めなくてよい社会づくりに、取り組んでいきます。（大野）

交流型日本語学習支援「ひまわり」

・毎週金曜日 ・10:00-11:30

・箕面市立多文化交流センター ・2008年設立



地域のボランティアと日本語を勉強したい外国人市民が、日本語で交流しながらことばや文化を学びます。例えば、新聞や本と一緒に読む、日常会話を楽しむ、ひらがなや漢字の読み書きをする、希望するテキストの学習をするなど様々です。

交流の工夫は様々にあり、毎回教室の始ま

りに、自由参加でラジオ体操を実施したり、日本語で発表する機会を作ったり、七夕やお正月遊びなどの行事ごとを紹介したりと、「また行きたい」と思ってもらえるような工夫を常にこらしています。

一対一での教室運営にこだわってきましたが、近年学習者の増加を受け、ボランティア・

学習者が共に複数参加するグループ形式での学習スタイルも取り入れました。

「その影響で、ボランティアも学習者も、思いがけず横のつながりが生まれたように感じます。」と、前向きな感想が聞かれました。

「勉強のするための教室」ではなく、「『ひまわり』に通う」ことで、自然と日本語を身に着けて、地域と人と繋がっていく。そんな場をめざしています。（野崎）



複数のボランティアと学習者が参加する、グループ学習中。

多文化交流センター施設のご案内

● 貸室

初めて貸室を利用される場合、「利用者登録」が必要です。登録の手続きは、窓口(9:00～17:00)とネット(要マイナンバーカード)も受付できます。



貸室：講座室A・B・C、会議室、ミーティングルーム兼学習室
：午前 (9:00～12:00) 午後 (13:00～17:00)
夜間 (18:00～22:00)

料金：午前 950円 / 午後・夜間 1250円

● 子ども活動室 (プレイルーム) 事業で使用して

いない時間に一般開放 (9:00～17:00)
専有利用(有料)については、お問い合わせください。

● 印刷室 (2階)

時間：9:00～21:00 料金：製版1枚50円 インク代10枚5円

● コピー機 (1階事務所内)

時間：9:00～22:00 料金：1枚10円 (白黒のみ)



世界の家庭料理を日替わりシェフが提供！
地域で暮らす外国人市民の社会参加を
促進するとともに、誰もが等身大で交流できるカフェです。

営業日：毎週火・木～日・祝日

営業時間：10:00～17:00

(ランチタイムは火曜・木曜～土曜 11:30～14:00)

*売り切れ次第終了)

カフェは開館日の9:30～17:00まで営業

カフェ直通 TEL 072-734-6255

定例事業 (国際交流協会)

場所：多文化交流センター

問合せ：TEL 072-727-6912 (国際交流協会)

FAX 072-727-6920

● 日本語教室



- ・ ささゆり (初級読み書き)
毎週火曜 10:00～12:00 *保育あり (予約制)
- ・ せいなんにほんご *西南生涯学習センター
毎週水曜 19:00～20:30
- ・ あかね
毎週木曜 10:00～12:00 *保育あり (予約制)
- ・ せんばにほんご *船場生涯学習センター
毎週木曜 17:00～18:30
- ・ ひまわり
毎週金曜 10:00～12:00
- ・ ひがしにほんご *東生涯学習センター
毎週日曜 10:00～11:30

● 外国にルーツをもつ子どもサポート事業

対象：小学生～高校生

- ・ 学習支援「さぼると」
毎週土曜 10:00～11:30
- ・ 居場所づくり「こどももっと」
毎週土曜 13:00～16:00
- ・ 「せんばこどもたぶんかクラブ」
毎週木曜 16:30～18:30
*船場図書館



● 多言語による生活相談窓口

日時：火曜～日曜 9:00～17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語

● 個別相談日

相談員が各言語の通訳者と一緒に解決方法を考えます。

- ・ 毎週火曜 10:00～14:00
英語・中国語 多文化交流センター
- ・ 毎週水曜 10:00～14:00 英語・中国語・
ネパール語 大阪大学箕面キャンパス3F
- ・ 毎週木曜 10:00～14:00 英語・中国語
市民ギャラリー「チカノバ」
- ・ 毎週土曜 10:00～14:00 英語・ベトナム語
多文化交流センター

その他の言語での相談にも対応します。お気軽にご連絡ください。

情報発信

箕面市国際交流協会HPからダウンロード可

- 箕面市国際交流協会 月刊情報誌「めろん」
- 箕面市立多文化交流センターニュース
年1回発行
- みのお多言語ポータル



箕面市立小野原図書館のご利用

開館時間：10:00～17:00

休館日：毎週月曜

(ただし、祝日の月曜は開館)と
年末年始

催し：木曜10:30～
よちよちえほんタイム
木曜15:30～
てくてくえほんタイム

TEL：072-749-5176



センターニュース No.22

発行：2026年3月

編集・発行：箕面市立多文化交流センター (Minoh Multicultural Center)

指定管理者：公益財団法人箕面市国際交流協会

MAFGA (Minoh Association For Global Awareness)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36

TEL・FAX：072-734-6258

<https://minoh-tabunka.jp>

開館時間：9:00～22:00

休館日：毎週月曜(ただし、祝日月曜は開館)と 年末年始



阪急バス



- ① 小野原
- ② 小野原南
- ③ 小野原西五丁目
- ④ 関西学院千里国際キャンパス

オレンジゆずるバス



- ① 多文化交流センター前
- ② 小野原西五丁目

※バス路線、時刻などについては、阪急バスホームページをご覧ください。